

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-189004

(P2000-189004A)

(43) 公開日 平成12年7月11日 (2000.7.11)

(51) IntCl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

A 0 1 K 85/01

A 0 1 K 85/01

2 B 1 0 7

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平10-366146

(22) 出願日

平成10年12月24日 (1998. 12. 24)

(71) 出願人 596156266

山野井 俊輔

大阪府守口市大日町4丁目24番14号

(72) 発明者 山野井 俊輔

守口市大日町4丁目24番14号

(74) 代理人 100074206

弁理士 鎌田 文二 (外2名)

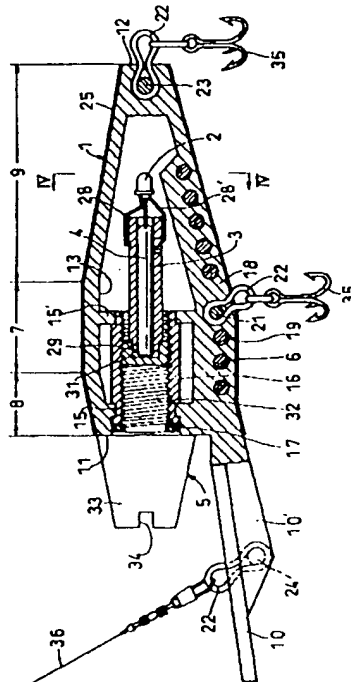
Fターム(参考) 2B107 BA62 BB02

(54) 【発明の名称】 ルアー

(57) 【要約】

【課題】 ルアーに内蔵した発光体の光をルアーの透光部分から外部に放射するようにした場合に、発光色の異なる発光体に適宜交換できるようにすることである。

【解決手段】 発光体2を電池4を挿入されたソケット3に取付け、ルアー本体1の外部から内部に嵌合したソケットホルダー5に上記のソケット3を着脱自在に取付けた構成とし、必要に応じて発光色の異なる他の発光体2を取付けた他のソケット3と交換するようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 透明又は半透明の透光部分を有するルアー本体の内部に電池及びその電池に通電された発光体を収納してなるルアーにおいて、上記発光体を上記電池が挿入されたソケットに取付け、上記ルアー本体の外部からその内部に嵌合したソケットホルダーに上記のソケットを着脱自在に取付けたことを特徴とするルアー。

【請求項2】 上記のソケットホルダーの頭部が上記ルアー本体の前端部に突出してルアーの頭部を形成することを特徴とする請求項1に記載のルアー。

【請求項3】 上記のソケットホルダーがねじ結合により上記ルアー本体に嵌合され、該ソケットホルダーとねじ結合するねじスリーブを上記ルアー本体内部に収納したことを特徴とする請求項1又は2に記載のルアー。

【請求項4】 ルアー本体の腹部に、該ルアー本体の長さ方向に所定の間隔において長さ方向と直角に所要数の貫通穴を設け、該貫通穴に錘りを着脱可能に強嵌した請求項1から3のいずれかに記載のルアー。

【請求項5】 上記のルアー本体の形状が、その中心線と直角方向の断面形状が多角形であるように形成され、上記ルアー本体の外表面に着色部と透明部が混在したフィルムを貼着したことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載のルアー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はルアーに関し、特に発光体を内蔵したルアー及び錘りの位置と数を可変にして泳層（いわゆる、タナ）の選択を可能にしたルアーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般的にルアーは、プラスチック成形品により三次元曲面の外表面をもったルアー本体を形成したのち、その外表面にアルミ蒸着を施すと共に、その上に塗装を行うことにより、光沢性の着色を施したものである。

【0003】また、ルアー本体の外表面を多面形に形成することにより、着色部と透明部が混在したフィルム貼着したものを本出願人が先に特許出願している（特開平10-127210号公報参照）。

【0004】また、夜間におけるルアー釣りを容易にするために、内部に発光体と電池を収納し、ルアーの透明部分から発光体の光を外部に放射するようにすることも行われている。

【0005】さらに、上記のようなルアーにおいて、泳層の選択のために適当な錘りを埋め込むことも従来から行われている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記の従来のルアーにおける発光体は、電池の交換は可能であるが、発光体はルアーの内部に固定されているためその交換が不可能で

あり、従って、一つのルアーから放射される発光色は一色に限定されていた。

【0007】しかし、釣りの現場では、種々の釣り条件に対応すべく発光体の発光色を変えることが望ましいことがあり、しかもその変更を即座に行う必要の生じる場合がある。

【0008】そこで、この発明は上記の発光体を発光色の異なる他の発光体に簡単に交換できるようにして、一つのルアーから放射される発光色を種々変えられるようにすることを課題とする。

【0009】また、ルアーに埋め込まれる錘りも従来は固定的なものであったので、泳層を選択するために錘りの数を変えたり、その位置を変えたりすることができない不便があった。

【0010】そこで、この発明の他の課題は、錘りの数とその位置が可変的であるようにして、釣り条件に応じてこれらを自由に変えられるようにし、泳層の自由な変更ができるようにすることである。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、この発明は、透明又は半透明の透光部分を有するルアー本体の内部に電池及びその電池に通電された発光体を収納してなるルアーにおいて、上記発光体を上記電池が挿入されたソケットに取付け、上記ルアー本体の外部からその内部に嵌合したソケットホルダーに上記のソケットを着脱自在に取付けた構成としたものである。

【0012】上記のソケットホルダーの頭部が上記ルアー本体の前端部に突出してルアーの頭部を形成する構成をとることができる。

【0013】上記のソケットホルダーがねじ結合により上記ルアー本体に嵌合され、該ソケットホルダーとねじ結合するねじスリーブを上記ルアー本体内部に収納した構成をとることができる。

【0014】上記のルアー本体の腹部に、該ルアー本体の長さ方向に所定の間隔において長さ方向と直角に所要数の貫通穴を設け、該貫通穴に錘りを着脱可能に強嵌した構成をとることができる。

【0015】上記のルアー本体の形状が、その中心線と直角方向の断面形状が多角形であるように形成され、上記ルアー本体の外表面に着色部と透明部が混在したフィルムを貼着した構成をとることができる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下この発明の実施形態を添付図面に基づいて説明する。

【0017】実施形態のルアーは、ルアー本体1、発光体2を装着したソケット3、ソケット3の内部に挿入される電池4、ソケットホルダー5及び複数個の錘り6により構成される。

【0018】ルアー本体1は、透明なABS樹脂からなり、長さ方向に2つ割りした成形品の間に上記のソケッ

トホルダー5を嵌めた上で接合一体化したものである。ルーア本体1の形状は、図1及び図2に示すように、中央部分が最も太く形成されて胴部7となっており、その胴部7から前方に向けてテーパ付きの頸部8が形成されると共に、胴部7から後方に向けて全体の半分以上の長さを持ったテーパ付きの尾部9が形成される。

【0019】上記の頸部8の前端面11の下部に前方に突き出した舌状の抵抗板10が設けられ、また尾部9の後端に後端面12が形成される。抵抗板10の下面には補強リブ10'が設けられる。

【0020】上記のルーア本体1の外表面は、その長さ方向の中心線に直角の断面形状が八角形となる多面体であり、上記の胴部7、頸部8及び尾部9は上記の八角形を形成する線と、各部の境界線とによって囲まれた八面体となる。

【0021】ルーア本体1の内部は空洞13となっており、その空洞13は頸部8の前端面11に開口部14を有し、頸部8と胴部7の部分に周方向のリブ15、15'が設けられる。上記の空洞13の内部に、内周面に雄ねじを形成したねじスリーブ16が挿入され、そのねじスリーブ16の外周面に形成された溝に上記のリブ15、15'を嵌合させている。ねじスリーブ16の前端と前記の開口部14との間にリング17が装着される。

【0022】また、上記ルーア本体1の下側縁の厚み部分、即ち頸部8から胴部7を経て尾部9の中程にわたる腹部18に、その長さ方向の所定の間隔をおいて貫通穴19を設け、その貫通穴19に金属製の棒状錘り6を強嵌している。ここに強嵌とは、通常の釣り操作によって加えられる振動等によっては抜け出さないが、金属棒等で一端を強く押すと抜け出す程度の嵌合強さをいう。

【0023】図示の場合、前記のリブ15'の下方においてピン21が埋設され、そのピン21に8字環22が取付けられるが、そのピン21より前方の腹部18に3ヶ所の貫通穴19が設けられ、またピン21より後方の腹部18に5ヶ所の貫通穴19が設けられる。錘り6の数及びこれを嵌合する貫通穴19の位置は釣り条件により適宜決定される。

【0024】なお、尾部9の後端部及び抵抗板10にもそれぞれピン23、24により8字環22が取付けられる。

【0025】上記のルーア本体1の頸部8、胴部7及び尾部9の外表面には、錘り6の取付け面を除き着色フィルム25が貼着される。錘り6の取付け面には塗料により適宜な着色が施される。

【0026】着色フィルム25は、例えば四角形の着色部26と格子状の透明部27とが混在したものであり、着色部26は光沢性をもたせた適宜な色に着色される。この着色部26と透明部27の形状は自由に選択することができる。例えば、全面の着色部に円形の透明部を散

点状に配置したり、或いは透明部を魚鱗状に配置したりすることができる。

【0027】上記の着色フィルム25は、頸部8、胴部7及び尾部9の外表面が多面体に形成されているので、外表面に曲面を含むものに比べシワを生じさせることなく、容易にしかも正確に貼着することができる。

【0028】次に、発光体2は発光ダイオード、「ケミホタル」の商標で知られているような発光塗料を含むものが用いられ、その発光体2の一方の脚28をソケット3の固定すると共に、その脚28の途中に屈曲部を設けて電池4の電極をこれに接触させる。また、他方の脚28'をソケット3の外周面から内部に臨ませて電池4の外周面に接触させる。

【0029】ソケット3は円筒状に形成され、その一端部に上記の発光体2が取付けられると共に、他端部の開口端から上記の電池4が適当な嵌合強さで、適宜出し入れされる。該ソケット3の開口端の外周面に一段小径の嵌合部29が形成され、ソケットホルダー5の嵌合凹所31に所要の嵌合強さで着脱自在に取付けられる。

【0030】上記のソケットホルダー5は、雄ねじ部32とこれと一体の頭部33とからなり、雄ねじ部32の先端に前記の嵌合凹所31が形成される。また頭部33は前端側が細くなるようにテーパが付けられると共に、断面が八角形の多面体に形成される。頭部33のテーパは前記の頸部8のテーパと一致し、また該頭部33の雄ねじ部32側の端面は、前記の頸部8の端面11と一致する。

【0031】上記の頭部33の前端面に操作具係合溝34が設けられ、これにコインなどを係合してソケットホルダー5を回動して取付けたり、取外したりすることができる。上記のソケットホルダー5の雄ねじ部32に前記のリング17を装着すると共に、先端部の嵌合凹所31にソケット3を取付けた状態で該雄ねじ部32をねじスリーブ16にねじ込むと、頭部33がルーア本体1の頸部8の前端面11に密着し、頸部8と頭部33が段差なく連続し、該頭部33と頸部8、胴部7及び尾部9とによりルーア全体が概略魚体形となる。

【0032】なお、上記の頭部33には塗料により適宜着色が施されるが、適宜な着色フィルムを貼着してもよい。

【0033】実施形態のルーアは以上のごときものであり、腹部18と尾部9の各8字環22に釣針35、35を取付け、また抵抗板10の8字環22に道糸36を結合してルーア釣りに使用される。発光体2は電池4により発光され、その発光色がルーア本体1及び着色フィルム25の透明部27を通して外部に放射される。

【0034】赤色、橙色、及び黄色等の異なった発光色をもった発光体2をそれぞれソケット3に取付け、そのようなソケット3を予め複数個用意しておく、ソケットホルダー5を取外すことにより、他の発光色の発光体

2を取付けた他のソケット3に交換することができる。

【0035】また、ルアーの浮力を全ての貫通穴19に錘り6を嵌入させた状態で水中に沈み、全ての錘り6を外した状態で水面上に浮くように設定しておくことにより、錘り6の数とこれを嵌入させる貫通穴19の位置を適宜選定して、水中の底層かた水面までの任意の泳層を選択することができる。

【0036】なお、上記のように、ルアー本体1の腹部18に、該ルアー本体1の長さ方向に所定の間隔を置いて長さ方向と直角に所要数の貫通穴19を設け、該貫通穴19に錘り6を着脱可能に強嵌した構成は、ルアー本体1が上記実施形態のものに限られず（従って、発光体を内蔵するか否か、或いは外形面が8面体で有るか否か等を問わず）、任意の構造をもったルアーに適用することができる。

【0037】

【発明の効果】以上のように、この発明は発光体を取付けたソケットをソケットホルダーに着脱自在に取付けているので、発光色の異なった複数個の発光体をそれぞれ取付けたソケットを予め用意しておくことにより、ルアー本体からソケットホルダーを外し他のソケットに交換するだけで、ルアーから外部に放射される発光色を変えることができる。その発光色を変えるためにルアー自体を交換する必要がないので、ルアーの数が少なくてよく、その交換も迅速に行うことができる。

【0038】また、ルアー本体に設けた貫通穴に嵌合する錘りの数と嵌合する位置を適宜選定することにより、釣り条件に応じてルアーの泳層を任意に且つ迅速に変えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態の断面図

【図2】同上の斜視図

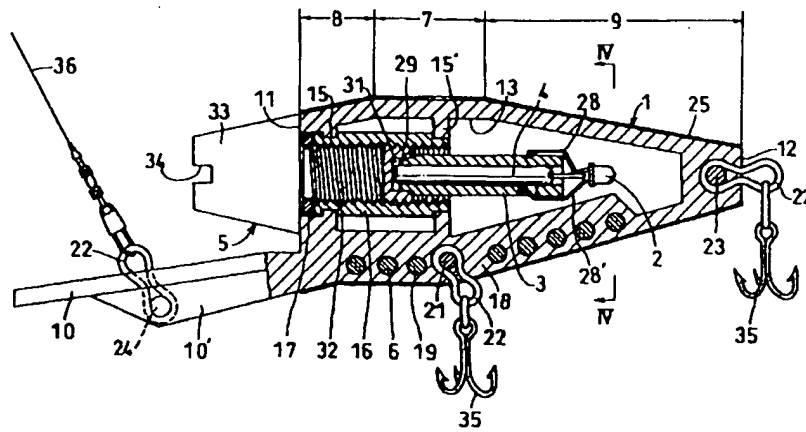
【図3】同上の一部分斜視図

【図4】図1のIV-IV線の断面図

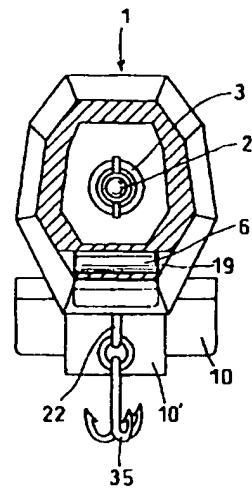
【符号の説明】

- 1 ルアー本体
- 2 発光体
- 3 ソケット
- 4 電池
- 5 ソケットホルダー
- 6 錘り
- 7 胴部
- 8 頸部
- 9 尾部
- 10 10 抵抗板
- 10' 補強リブ
- 11 前端面
- 12 後端面
- 13 空洞
- 14 開口部
- 15、15' リブ
- 16 ねじスリーブ
- 17 Oリング
- 18 腹部
- 20 19 貫通穴
- 21 ピン
- 22 8字環
- 23 ピン
- 24 ピン
- 25 着色フィルム
- 26 着色部
- 27 透明部
- 28、28' 脚
- 29 嵌合部
- 30 31 嵌合凹所
- 32 雄ねじ部
- 33 頭部
- 34 操作具係合溝
- 35 釣針
- 36 道糸

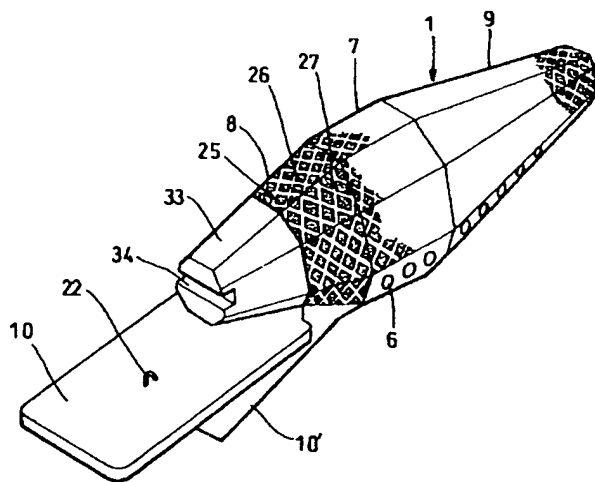
【図1】



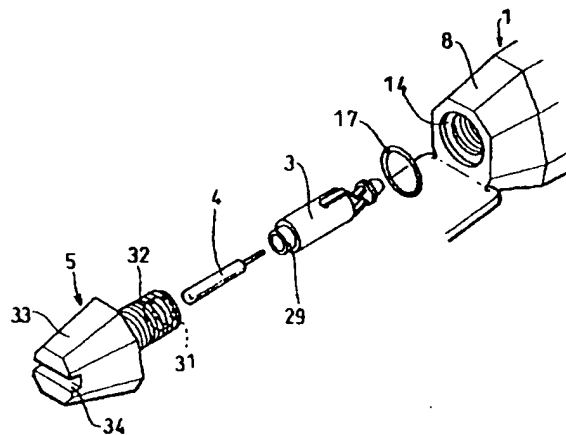
【図4】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP02000189004A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000189004 A
TITLE: LURE
PUBN-DATE: July 11, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMANOI, SHUNSUKE	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMANOI SHUNSUKE	N/A

APPL-NO: JP10366146

APPL-DATE: December 24, 1998

INT-CL (IPC): A01K085/01

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To suitably exchange an illuminant for another of a different luminous color when the light of the illuminant contained in a lure is made to radiate from a light transmitting part of the lure to the outside.

SOLUTION: This lure is composed by attaching an illuminant 2 to a socket 3 in which a cell or a battery 4 is inserted and freely detachably attaching the socket 3 to a socket holder 5 fitted from the outside of the lure body 1 into the interior. The socket 3, as necessary, is exchanged for another 3 to which another illuminant 2 of a different luminous color is attached.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO